

めだかの学校だより

令和7年11月1日

第129号

学舎：周智郡森町

「一宮総合センター」

事務局：静岡県磐田市

家田 529-20

TEL: 0539-62-6691

校長訓話

第二二九回 校長 榊原 淑友

「凡事徹底」

めだかの学校舎監のさかきばらです。いつもは舎監として校舎の鍵開け・看板の設置・昼食の手配・お茶の準備などをさせて戴いております。皆さまには遠くから森町に来ていただき只々感謝・感謝です。私は地元の森町農協に営農指導員としてお世話になり、お茶で農林水産大臣賞を受賞、日本一のレタス産地を目指し、トウモロコシの産地化や究極のコンヒカリのブランド化に農家の皆さんと一緒に取り組んできました。私と農家の目標はベントツに乗れる農業の実現で日本一の産地を目指してきました。お陰様でレタスの後にトウモロコシを播き、収穫後に水稻を栽培するという、水田を3回活用する輪作体系を日本で最初に実現することができました。これは後から気付いたことですが、森町地域には報徳

思想の教えが根づいていて新しいことに取り組む風土が地域にあったことに感謝です。

レタスの日本一の産地化には農家の努力だけでなく、市場関係者のご協力により東京の青果市場で一番のセリにかけられ最高値販売されるようになり、品質でも価格でも日本で一番の産地を実現出来ました。こうなると毎日、日本全国から視察者が来て頂けるようになりました。私の仕事は視察者への対応に追われるようになり、日本一の産地ではどのような検査をしているのか？視察者の目は集荷場の職員やパートさんの一挙一動にまで及びます。日本一きれいな集荷場にしたいとの思いに至り、ゴミ一つない、透き通った窓ガラスとタ方には何もない机の上を目指し、トイレ掃除が私の一番の仕事となりました。窓ガラスの掃除をしていると農家の動きや、職員の動きが手に取るように分かり、今何が必要か瞬時に判断出来るようになりま

した。

そんな時、経済連の先輩からそんなに掃除・掃除というなら、イエローハットの鍵山秀三郎さんに会って来いと言われ、鍵山さんのご指導を仰ぐことになりました。鍵山さんの考え方は世の中から荒みをなくしたい。そのためには汚れをそのままにしない。環境がきれいになると仕事の能率も上がり、正品率も向上して社員が楽しく仕事が出来、会社経営も改善したと教えていただきました。当時私は農協合併を経て(株)遠中サービスの経営を任されており、挨拶とクリンネスを徹底する経営方針で間違いないと確信いたしました。「一つ拾えば一つだけきれいになる」人のやらないことを徹底してやり続ける凡事徹底は私の人生の目標となりました。「10年偉大なり、20年畏るべし、30年歴史なる」鍵山相談役の名言です。

感謝



めだかの学校伝言板

第129回めだかの学校を開校するので出席しなさい。

校長／榊原淑友

教頭／大島たまよ

用務員／玉木良汰

給食係／※給食は取り寄せです。

<学舎> 静岡県周智郡森町一宮 3150

「一宮総合センター」

※コロナはまだ収まっていません。

消毒とマスクはして下さいね。

開校日／令和7年12月6日(土) 正午～

受付／大場敬子・大橋町代・榊原幸雄(後見人)

33期通年テーマ：『人生百年時代』

今回のテーマ：< 今までの百年、これからの百年って >

<時間割>

●1時間目 社会 玉木良汰先生

「Z世代が考える100年先の未来って」

●2時間目 歴史 大島たまよ先生

「今までの百年、技術の継承って」

●給食は取り寄せです。

PM3:15 閉校

めだかの動き

泳ぎ回るめだかたち

■「全国まちづくり交流会 それから」へ行ってきました！

9月4日(木)～5日(金)で開催された全国まちづくり交流会へ行ってきました。昨年、北海道津別町で開催された第20回の開催地である「愛知県足助町」にも一度戻って「それから」と題した交流会になりました。

当初、松本芳廣メダカといっしょに参加の予定でしたが、松本メダカはコロナでダウン、大日本報徳社の鷲山恭彦社長との参加となりました。

交流会へは北海道から南は与論島まで約70人のメンバーが参加、懐かしいメンバーばかりで、交流会というより同窓会という感じの集まりとなりました。

交流会は4日18時から足助町・百年草のレストランで始まりました。最初に物故者への黙とうが行われました。足助のまちづくりを牽引し、この交流会を支えた小沢庄一さんをはじめ、めだかの仲間鈴木正士さんなどまちづくりと戦った仲間感謝しました。足助AT21の佐久間章郎さんから開会の挨拶が行われあと、来賓からの祝辞をいただき、交流会はスタートしました。

今回は特別な講演やイベントはありません。ただただ今まで会ってきた仲間との旧交を思い出しながら、励まされた20年を振り返りました。全国の料理や地酒が話盛り上げました。めだかの学校から静岡県の地酒を差し入れ、皆さん美味しさと評判でした。森町からの水出し煎茶も召し上がっていただきました。北海道のホタテ料

理や地元愛知のひつまぶしなど名物料理に美味しくいただきましたが、久しぶりでしたが、久しぶりに会う仲間の会話が1番のメニューでした。

最後は恒例の阿波勝浦の阿波踊り、会場が一つになった夜になりました。



これで最後の交流会になるかと思いましたが、なんと岡山県新庄村の石藤副町長から次回開催の立候補がありました。一旦締めとなったこの交流会ですが、新たなステージに向けて開催が検討されるようです。新しい展開が楽しみです。PS…盛大に開催された交流会ですが、あいにくの台風で翌日5日の町並み散策は中止となりました。私たちは早めに切り上げ5日午前中、帰路に就くことになりましたが、大雨にハラハラしながらの新東名、もう少しでインター閉鎖となるところをギリギリの帰宅となりました。(村松達雄メダカ)

■花井孝メダカのお手紙から…

とにかく今年の夏は暑くてバテバテorヘロヘロ状態で、この最大の原因は日本政府から与えられた後期高齢者と呼ばれる称号のせいかもしれません。換言するならば絶滅危惧者でもあると考えられます。

早速、私の提案である「1人3分間の自己主張」を採用して戴き恐縮です。

余談ですが、静岡市行政の中に「まちば劇場」と称する業務課があります。設立された考え方と申しますかコンセプトは、市民1人ひとりにとって、静岡市と呼ばれる劇場の中で自らが何かを演じ(行動し)て

多くの人々から拍手、ブラボーをもらったリステージ上でスポットライトを浴びた市民の1人は満足と申しますか自己実現を図ったことになりました。ステージ上の市民は、生まれた町、育った町、暮らした静岡市に愛着を感じ又誇らしくも感じるのは…。

めだかの学校の教壇は昔青年、今爺婆の檯舞台、3分間のステージだ！めだかの学校の教壇に立つて良かった満足した。との結果は大丈夫！同じ小さなめだか仲間の中のエリートめだかになった自己陶醉、自己満足めだかの誕生である。いじめの中で、1番辛いいじめは皆んなから無視される事と以前聞いた記憶があります。人間にとって、自分の存在、アイデンティティを否定される事は淋しくて悲しい事です。3分間教壇に立つて自分存在(観)を際立たせることは気持ちのいいものです。皆んなクセになるのかも…。(一部省略)

とにかくめだかの学友達は自己アイデンティティを築く事の手段としてめだかの群れに加わって居る様に思えるのです。人は誰もが生まれてきて良かったと思える人生の為に自己の人格や存在を他人や共同体から認知される、つまりアイデンティティを築く事と思われまます。

自分が満足できる生きがい生涯の自己実現。アメリカの心理学者のマルゾー？は、人間の生理、安全、所属、愛情、自尊、欲求が満たされて実現することと定義していた記憶が…。正に我々の所属するめだかの学校劇場で、いい仲間(めだか)と共に言いたい放題の法螺が吹けて幸せ！充実！と。(以下省略)

※いいお手紙を頂きましたので、一部省略させていただきます！掲載させていただきます！叱られそう。「ご了承のほどを！」(バラメダカ)

■遠州の小京都『町並みと蔵展』

テーマは「福川泉吾と森のまち」第39回遠州森町発『町並みと蔵展』が、11月22日(土)・23日(日)の2日、森町中心市街地で開催される。森の茶、お菓子、書道・絵画、古着・骨董・民芸品、地場産品、飲食など約60店が出展予定。今回テーマの「福川泉吾と森町」の講演会が、11月22日(土)午後1時～午後2時、西光寺で。福川泉吾は、古着、材木、生糸、秋馬車鉄道など、様々な事業に資材を投じ森町の発展を基いた。また森町町長、森銀行頭取、森町茶業組合の初代幹事も。人力車による町周遊や雅楽演奏などもあるの、ぜひお出かけの程を！問い合わせは、090・1472・6189 遠州木三の里連。

『人・ひと・ヒト…だより』

●磐田の山下安範メダカ。4月に開幕した関西万博ではボランティア活動として会場に入り、お客様案内などで多くの活動をしました。注目の大屋根リンクも素晴らしい、各国パビリオンも個性があり、とてもよい期間を過ごすことができました。暑さで大変な日々もありましたが、良い思い出になりました。だって。良かったですね。私は行かずに済みでした。遠くすぎて。

●浜松市の大谷洋介メダカ。暑いですネ。1人1人のお便利ありがとう。良く続いていますよネ。だんだん暑さもうまくなっているよ。さすがだね。又、メダカで知り合った人が亡くなっているのはつらいよネ。だって。確かに。でも天上界も仲間が増えて賑やかだと思ふヨ。2人の言い出しっぺもいるし。(笑)

●磐田市の鈴木祐之メダカ。皆様お元気に活躍の事と思います。夏バテはしていま

せんか。現状では参加できず残念ですが、11月9日(日)の『南信州遠山郷』は参加できますのでよろしく願います。人数が少ない場合は車を出しますの言ってください。だって。ありがとう！

●磐田市の島田尚子メダカ。毎日うるような暑さが続いています。昨年暑く、これからの夏はいいなという言っているかと思っていました。今年も暑く、暑さです。テレビをつければ、猛暑日、危険な暑さ。熱中症。エアコンの適切な使用などと言った言葉が飛び交っています。それでも「めだかの学校だより」を読めば、いつもと変わらぬめだか生の学校があり、元気づけられます。長年の発行、発送ありがとうございます。だって。いや、本当に暑いんですね。熱中症やっちゃいました。マイツチャうね。(笑)。

●岐阜県加茂郡坂祝町の、そばの里深萱ふぐの長谷川政夫メダカ。ボクも出たいな。70歳で年金生活を夢見ていました。10年早く卒サラしたら、年金で生きながらえるのは無理！。老後の健康は何かやる事が有る事！とさとりしたので、生涯現役を決めました。もうしばらくしたら定休日が増えるかも知れせん。そうしたら、又校長やってみないか。だって。山根さん、そうなんだ。残念ですね。ボクはそば打ちの最中にソバ畑で脈がとまった。最高の幸せだと思っていますが、愛する妻、チャーパーを悲しませたくないの。1日だけ長生きすることに努めています。とも。長谷川さんの校長いいね。それまで待つてますヨ。ソバ畑の中で脈が止まらないうちに。

●磐田市の八木義弘メダカ。自己宣伝になりますが、家業のそろばん教室で小学生相手のAIとプログラミングの教室を始めました。世はつるべ落としの少子化。生き残

りは大変です、だって。

●浜松市の城内実メダカ。前の石破内閣につづいて、このたびの高市内閣では経済安全保障担当大臣に就任。日本成長戦略や経済財政政策などを担い、経済の持続的成長と安心して暮らせる社会の実現に向けて全力で取り組んでいく、と。メダカの学校の自慢だね(笑)。

●掛川市の島山剛メダカ。9月19日中東遠病院で鼠径ヘルニア手術です。無事成功することを祈っています。正士さんはじめ知人たちが亡くなっているのが嫌な気分です。今年のアサギマダラは吉田町吉田公園に苗木130本を提供。地元の三熊野神社境内、水上宮境内、安禅寺花壇、家の前の街路花壇に植え、立派に育っています。10月のアサギマダラの飛来が楽しみです。手術が成功しましたら学校に登校して皆さんにお会いしたい、だって。

●浜松市の鈴木計芳メダカ。正士さんの葬儀にちよと顔出しました。袴田さんに会いました。小林さん(磐田市の小林佳弘さん)も亡くなられ、ゆかりの人がだんだん少なくなつて残念ですが、やれる人で頑張つて集まりましょう。9月6日出席、みんなの話が聞けるのは良いですね。また小国神社で夕食しながら一杯やるのもいいと思います。検討してみてください。来年の6月か9月ですかね、だって。2年後に35年になるので、35周年記念大同窓会をやろうと思つてます。ちよと待つてね。

●浜松市の中村明男メダカ。今夏は暑さが異常、外に出るに出不れず参つてます。若い頃に手掛けた縁で音楽イベント裏方サポート(浜名湖フオークフェス・JAZZ WEEK)で20年余り、気持ちを若返らせてくれます。「繋がり」を大事に積極的！。だって。いや、相変わらず人生前向き！いいね。

●三島市の野村諒子メダカ。今年の夏は暑かったですね。暑い夏に北海道に行つて来ました。七月でも北海道は気温40℃でした。楽しみにしていた富良野のラベンダーは暑さで焼けて真黒に枯れていました。育てて下さっている農場の皆さんも、きっと残念に思っているのではと思いがら帰つて来ました。行けただけでも幸せだと思います。だって。北海道はいいね。何度も行きたくなります。6月中旬の稚内は寒かったです、ハイ。

●浜松市の藤波公子メダカ。メダカの学校便り送付ありがとうございます。"そつと"のぞいてみて"ごらん"と友に誘われて、そしてメダカのたよりのお陰さまで八十路の誕生日を迎えることができました。時の流れの速さが。この度は今村様のお話、お伺いしたいです。今度のお便りも、又私に驚いて居ります。今度のお便りも、又私に大変な力をくださいまして、めだか生の皆々様に感謝申し上げます。だって。「出席したつもりで」と五千円を寄付してくださり感謝です。

「新入生紹介」

●磐田市の山本真由美メダカ。磐田市の地域おこし協力隊で北部の豊岡地区を担当。来年少3月で3年間の任期満了だつて。浜松市出身だとか。来年少3月の第130回めだかの学校校長予定ですぞ！ハイ。

●磐田市の高塚静子メダカ。磐田市議1期生。6人の女性議員のひとり。お気に入り。の本の紹介や、LINEでの連絡網の整備を、だつて。メダカのLINEグループあるヨ。現在36名。ぜひ登録してね。

●森町の川岸和花子メダカ。森町の女性町議で写真撮影業。地元の歴史を学んだり、古事記や大和ことはを学んでいる、と。

××× ×××

もつともつと伝えたいのですが、紙面の都合で今回はこれまで。LINE、FBのみなさんごめね。また内容に季節のズレがあります。お赦し下さいね。バラメダカ

《めだか春秋》

正士さんとの出会いは平成5年に遡る。当時の豊岡村は工業専用地域以外全村調整区域で思うように住宅が建たなかった。区画整理を起こして何とか住宅地をつくりたいというのが村の願いだった。その力になつてくれないうこと。で豊岡村に出向することになった。都市整備課の課長席に正士さんが座り、その隣に参事の職名をもらい一緒に仕事をすることになった。正士さん45歳、私36歳の時だった。当時豊岡村の大きな課題は第2東名対策だった。正士さんは道路公団による用地交渉への協力と地域にメリットがあるようにする交渉事に尽力していた。その結果新東名沿いにはしっかりと側道が整備され村の東西の移動が飛躍的に向上した。さらに、下水道事業をやるに当たり終末処理場の位置を決めるのに難航していた。夜の説明会が続く、時には胸ぐらをつかまれるくらいにエキサイトする場面もあったが、正士さんの「絶対に諦めない」意気込みで何とか建設にこぎつけている。

その年の6月メダカの学校というのが引佐であるから一緒にどうかと誘われたのが学校入学のきっかけだった。その後、由布院観光総合事務所事務局長全国公募に応募する時も、そばを打つて人と交流すること、自分の人生を変えるきっかけを正士さんはつくってくれた。そのことへの感謝はし尽くしても足りない。「ありがとう、そしてさよなら、正士さん。」 溝口久メダカ

■事務局だより

今年の夏は暑かったですね。皆さんはいかがお過ごしだったでしょう？。私は熱中症になってしまいました。それにしても暑い暑いと言っているうちに、今年はあと2ヶ月弱。月日の経つのは本当に早いですね。

さて、第128回めだかの学校は、9月6日の土曜日。始めに事務局から、松本芳廣教頭がコロナで、玉木良汰用務員が用事で欠席。田村進治メダカと、榊原幸雄メダカが代理で務める。また今年亡くなられた山根圭二メダカと、鈴木正士メダカ、小林佳弘メダカのご冥福を祈って1分間の黙祷をする。そのあと田村教頭にバトンタッチして開校する。今回は期初特別授業で、建学の精神を唱和。新入生は3名。高塚静子メダカと、川岸和花子メダカは欠席。山本真由美メダカのみ自己紹介をする。

お待ち兼ねの給食の時間は、古澤屋さんのお弁当。いや〜ご飯が美味しい。森町の「究極のコシヒカリ」だったらしい。(笑)給食のあとは全員で写真撮影。ポーズを取って「はいチーズ」。横山忠志カメラマン、いつも抜けてごめんね。

1時10分からの校長訓話、今村純子校長「戦時中の自身の生まれから、昭和32年静岡県の職員となり『生活改良普及員』の仕事をしてきたなど」を話す。ちよっとオーバーしちゃったけど。(笑)。事務局からは秋山

勝則実行委員にか

わって、

11月9日

日曜日の

『信州遠

山郷の特
別教室』の話を



1時30分

からの円陣を組んで1人3分の講話授業。

3分の砂時計を持って。百

歳になった母親の話から、

満州からの引揚げ時の厳しい苦勞話、茶

道の話、貧乏で若い頃森町

担当の交換子になった話、こだわ

りの茶などなど、ぴつ

たりの人もいれば、3

分すぎても話しつづける人も：いやはや

でございましたが楽しいものでした。年1

回期初の特別授業でやるのもいいかも。砂

時計も2個あるし、用務員のチンの役割も

いい。(笑)。

3時を過ぎたが、次期3役の指名。校長

榊原淑友、教頭大島たまよ、共

にこだわり農人？。用務員

は玉木良汰再指名。楽しみです。最後は大きな輪をつ

て、「今日の日はさようなら」を歌いながら握手してお別

れ。机と椅子を



元に戻して：来た時よりも美しく：ご機嫌よう再会を！。

第129回め

だかの学校職員

会議を10月4

日(土)10時か

ら学舎で開く。

3役の榊原淑友

校長、大島たま

よ教頭、玉木良

汰用務員と、石

野省三、松本芳

廣、中村明男、

鈴木真弓、榊原幸雄の8名が出席。第12

9回のテーマと授業について話し合う。

33期の通年テーマが『人生百年時代』で

あるので、幅広く、伝統のこと、建築のこ

と、日常の物事など、いや〜多くの話にと

びかう。そんな中、決まったテーマは『今

までの百年、これからの百年』に。授

業はこれを受けて、未来を先に、1時間

目社会、「Z世代が考える百年先の未来

について」玉木良汰。2時間目は歴史「今までの



百年、技術の継承」大島たまよ先生に決まる。教頭、用務員が同日先生になるのは開校以来初めて。面白そう。(笑)。また11月9日(日)の「信州遠山郷特別教室」の話も。24名出席と。

■第33期の受付を始めています。

第33期は、令和7年9月1日から令和8年8月31日までです。申込みを受け付けています。毎年度手続きが必要です。未提出者には再度、申込書を同封します。手続きを怠ると、自主退学扱いとなり、名簿から外れます。気をつけて下さい。新しく入校を希望される方がいましたら、事務局までご連絡下さい。申込書と資料送りま

す。若い人が入るといいですね。入りまして。4人も。嬉しいね。(笑)。

■今回も遅れました。ごめんなさい。

いつも生原稿のメール打ちの石野省三メダカ、大島たまよメダカ、埋田千聡メダカ、水島加寿代メダカ、秋山勝則メダカ、村松達雄メダカ、写真撮影の横山忠志メダカ、まとめてくださる間瀬亮太メダカ、発送などのお手伝い榊原明美さん、ありがとうございます。感謝!!。

■めだかの学校だよりの原稿を！

次回の発行は、令和8年2月1日予定。締切1月15日です。みなさんの日頃の活動をお手紙・FAX・LINE・FBでメールの方は、

《mavin.f100@gmail.com》
間瀬亮太090・5009・0986です。

(昔のアドレスは使えません。ご注意を！)

■めだかの学校の事務局

〒438・0105 静岡県磐田市家田5
29番地20 榊原幸雄方 TEL 05
39・62・6691 (FAX 同じ)
※学舎「一宮総合センター」周知郡森町一
宮3150。電話 0538・89・77
30 開校日の午前11時以降のみ使用可。
携帯 080・1612・9130

